

新所沢駅から徒歩 7 分

2023年11月25日(土)

新規開院

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
所沢美原総合病院
〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3
お問い合わせ 04-2928-9110（所沢明生病院）

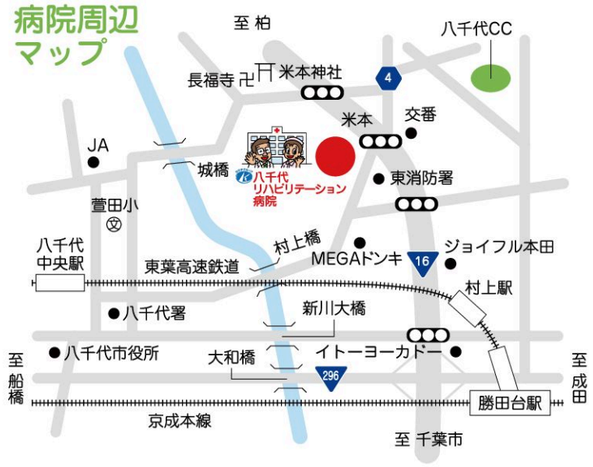
50th Anniversary



※R6年ノベルティ
「かまちミント」

カマチグループは50周年を迎えました

病院周辺マップ



交通のご案内

＜京成電鉄勝田台駅からのご案内＞

勝田台駅から東洋バスで米本団地行15分
「八千代リハビリテーション病院」停留所下車

＜お車をご利用のご案内＞

国道16号線柏方面からお越しの方

米本交差点を
右折し病院後方入口よりお入りください。

国道16号線千葉方面からお越しの方

米本交差点を
通過のうえ病院正面入口を
左折してください。

▼ 当院HP

＜送迎バスのご案内＞

京成勝田台駅北口、千葉ニュータウン駅より無料送迎バスが運行しています。
詳しくはHPをご確認ください。

八千代リハビリテーション病院　広報誌
クローバー vol.52
令和6年　春発行

企画発行
八千代リハビリテーション病院
広報委員会
〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
TEL 047-488-1555 ／ FAX 047-488-1552

広報誌　Clover ／2024.5　春 号　Yachiyo Rehabilitation Hospital

クローバー vol.52

CONTENTS

2P ✤ 新入職の皆さまへ
3P ✤ 新入職者代表挨拶
✤ 院内旅行
4・5P ✤ 令和5年度実績
6P ✤ むすびプロジェクト
✤ 膝関節装具の勉強会に参加して
✤ 関東KG学術大会
7P ✤ 八千代さんぽ
8P ✤ 所沢美原総合病院開院

一般社団法人 巨樹の会
八千代リハビリテーション病院
〒276-0015　千葉県八千代市米本1808番地
https://yachiyo-reha.com



新入職の皆さまへ



院長 妻鳥 元太郎

ご入職おめでとうございます。
この度50名の新たな仲間が増えましたことを大変うれしく思っております。
また入職された皆さまがいろんな職場から就職先を選ぶなかで、この八千代リハビリテーション病院に来てくれたことに心から感謝しています。
この良い機会に皆さまに1つお願いをしたいと思います。
それは「職場には笑顔！」ということです。
仮に何かいやなことがあったとしても、患者様には笑顔でサービスを提供できる、そんなプロフェッショナルをこれから目指してください。
家を出る前、エレベーターの中、トイレ休憩の後など、今日は自分がどんな笑顔を見てもらっているか、しっかり点検してみましょう。
さあ、今日から働くこの八千代リハビリテーション病院が、自己実現できる、明るく楽しく、やりがいを感じられる、そんな職場になるように一緒にがんばっていきましょう。

新入職者代表挨拶

看護師

４月１日より、八千代リハビリテーション病院に看護師として入職しました。憧れの看護師として働くことができ嬉しい気持ちもありつつ、不安な気持ちもあります。しかし、私は看護専門学校で学び蓄えた知識や患者様との一人一人の関わり方を基盤として自ら学び続けます。

介護福祉士

４月1日に看護補助者として入職しました。
リハビリテーションに関わるのは初めてなのでとても不安です。
しかし先輩方にご指導いただき、基本的な技術から日々学んでいき、患者様が笑顔で過ごせるよう努力していきたいです。

言語聴覚士

入職式では、妻鳥院長を始め様々な職種の方が歓迎の言葉を下さり、私たち新入社員は暖かく迎え入れて頂きました。
これから言語聴覚士として患者様と関わることは初めての経験ですが、やさしく丁寧に指導をして下さる先輩方のおかげで安心してリハビリテーションをする事が出来そうです。患者様の日常生活が少しでも豊かなものになるように、学び続けていこうと思います。

作業療法士

緊張と不安な気持ちで入職式当日を迎えました。多くの方々から挨拶や声かけを受け、これから頑張ろうという前向きな気持ちでスタートをきれました。
私が目標としているセラピスト像は、患者様一人ひとりにしっかりと向きあい、一日でも早く日常生活動作や退院後のやりたい事を再獲得できるよう、患者様の状態に応じたリハビリを提供出来るセラピストです。
その為にまずは不明な点は放置せず、先輩方に積極的に質問し多くの知識と技術を吸収していきたいと思います。



八千代リハビリテーション病院 令和5年度実績

入院患者数
945名

患者満足度 ※1
当院を紹介したいと思いますか？
88.8点

病床利用率 97.6%

在宅復帰率 ※2 92.3%

平均在院日数
89.8日

退院先

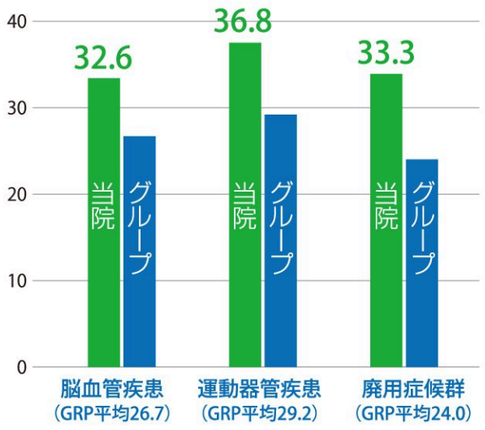
1. 自宅 81.0%
2. 介護老人保健施設 5.8%
3. 特別養護老人ホーム 4.9%
4. 有料老人ホーム 3.6%
5. 長期療養病院 2.2%
6. サービス付高齢者住宅 2.1%
7. その他施設 0.4%

リハビリ提供単位数 ※3
平均 8.31単位

アウトカム実績指数 ※4
46.96

新規登録者数
訪問リハビリテーション 137名
通所リハビリテーション 29名

FIM利得 ※5（退院時FIM－入院時FIM）
機能的に自立度を図る評価法、点数が高いほど自立度が高い

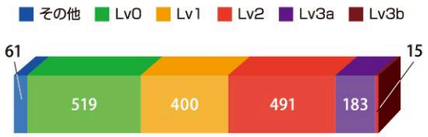


家屋調査実施数
入院時 139件
退院時 212件

実車教習実施数
37件

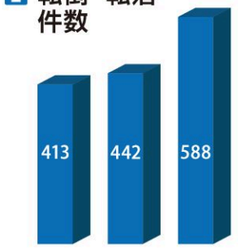
医療安全指標

1 レベル別医療安全管理報告件数



Lv4a以上“0”

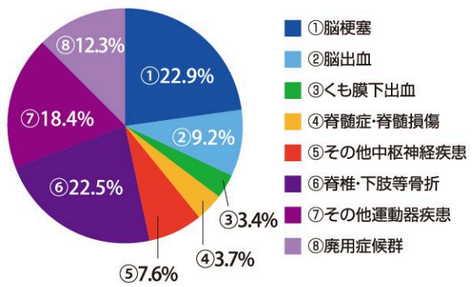
2 転倒・転落件数



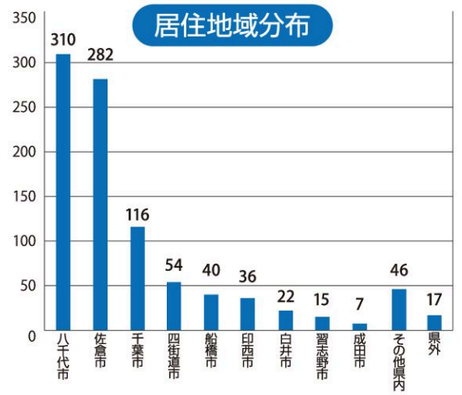
3 ヒヤリ・ハット提出件数 ※6



患者様疾患別内約



居住地域分布



※1 患者満足度

当院では、患者様やご家族のご意見をより良いサービスに繋げていく為、退院時にアンケートをとらせていただいています。アンケートの一例として、「ご家族、知人がご病気になられた際、当院を勧めたいと思いますか?」「当院の総合的な評価点（100点満点中何点?）」を患者満足度として表現しています。

※2 在宅復帰率

回復期リハビリテーション病棟においての「在宅復帰」とは、自宅はもちろんのこと居住系介護施設（グループホームや有料老人ホームなど）に退院したことを指します。転院や転棟した人は「在宅復帰」とはならないので、「在宅復帰」したということは原則的に「日常復帰が可能」「リハビリが在宅内で可能」という状況になった患者様を数えています。在宅復帰率は、「在宅・居住系介護施設・有床診療所÷死亡や再入院・転院を除く退院患者数」で表されます。

※3 リハビリ提供単位数

リハビリテーションを実施する時間を意味しており、1単位は20分です。この単位をもとに、1日で実施できるリハビリテーションや1ヶ月で保険申請できるリハビリテーションの単位数が定められています。回復期リハビリテーション病棟では1日最大9単位が可能となっています。

※4 アウトカム実績指数

入院時と退院時のADL評価（FIM運動項目）の差を、在棟日数に各疾患の算定上限日数を割った数で割った数のことになります。数字が大きければ大きいほど、効果が高いことが示されます。

【参考】実績指数の計算式

$$\text{実績指数} = \sum \left(\frac{\text{各患者様の（FIM得点「運動項目」の、退棟時と入棟時の差）の総和}}{\left(\frac{\text{入棟から退棟までの在棟日数}}{\text{状態ごとの回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数}} \right)} \right) \text{の総和}$$

※5 FIM利得

機能的自立度評価表（Functional Independence Measure）の略で、日常生活動作をみる検査法です。運動項目13項目、認知項目5項目で構成されており、各7～1点の7段階で評価します。合計点が高いほど日常生活の自立度が高いことを示します。

※6 ヒヤリ・ハット

ヒヤリ・ハットとは「ヒヤッとした」「ハッとした」出来事などの事故に至る可能性があったが、事故に至る前に発見されて防ぐことができた事です。事故を出来るだけ発生させないようにするにはヒヤリ・ハットなどの気づきやミス、事故に繋がりかねない出来事を多く発見し情報共有することが望ましいとされています。

むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
退院後もその人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介いたします。

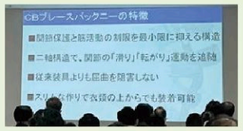
第2回 むすびプロジェクト研修会 ～地域の事業所との連携～

令和5年11月27日に関東カマチグループ17病院の職員を対象にむすびプロジェクト研修会を開催しました。第2回目となった今回は、蒲田リハビリテーション病院を退院された患者様と退院後の支援に関わられた介護支援専門員・自立訓練事業所の理学療法士・訪問リハビリの作業療法士、地域の支援事業所スタッフ5名をお招きし、シンポジウム形式で開催しました。脳卒中を発症後に新規就労を目指している事例を通して、回復期リハビリテーション病院、地域の支援事業所との連携についての経緯や支援内容と今後の支援について、ご講義をいただきました。総勢350名程のグループ病院の職員が現地・Zoomにて集い退院後の地域の支援事業所との連携の大切さに関する知識を深めました。患者様の声を直接聞けたこともとても貴重な機会となりました。今後も患者様へのサービスの質の向上につながるよう研修会を企画していきます。



▲ 現地・ZOOMを合わせて約350名が参加しました。

膝関節装具の勉強会に参加して





院外から義肢装具士を招き、脳卒中の患者様を対象とした膝関節装具の勉強会を開催しました。当院の職員70名以上が参加し、装具の特性や使用方法を学び、実際に装着しました。軽量でスムーズに動かせる事、膝の負担が軽減出来る事を実感できました。スタッフからは積極的に質問が飛び出し、丁寧に答えてもらい知識が深まりました。今後さらに知識や技術を身に付けられる様、勉強会の開催と参加をしていきます。

第20回 関東カマチグループ学術大会







令和6年3月2日（土）第20回関東KG学術大会が所沢市市民文化センターで開催されました。統一テーマは「認知症」で当院からは作業療法士が「ケアプロトコールを活用して生活リズム修正を行い日常生活動作能力の向上が見られた症例」を口述発表しました。午後から令和健康科学大学　リハビリテーション学部学部長稲川先生より特別講演を拝聴することができ充実した一日を経験できました。

八千代リハビリテーション病院周辺の
おすすめスポットをご紹介

八千代さんぽ



今回は
八千代新川千本桜まつり2024を紹介します。

八千代新川千本桜まつり2024が開催されました

八千代市に流れる新川では、川沿い約9ｋｍに渡り河津桜、染井吉野などの8種類の桜が植栽されています。中でも一足早く開花する河津桜は約700本あり、全国最大級レベルとのこと。2017年からは見頃となる3月上旬に「八千代新川千本桜まつり」が開催され、昼間はステージイベントやキッチンカーの出店、夜間はライトアップされた桜が見られます。

夜に訪れるのは初めてでしたが、昼とはまた違う幻想的な景色が印象的でした。川沿いは冷えますので、来年はぜひ暖かい格好で出かけてみようと思います。





